

テーマは「きになる」住まいの“きになる”について考えます。

住まいのきになる通信 NO. 1

## 平成26年1月の「きになる通信」

### 新築住宅の固定資産税 減税を2年延長 — 政府・与党調整



政府・与党は、来年3月に期限が切れる新築住宅の固定資産税を2分の1にする特例措置を、2年間延長する調整に入りました。

(2013年12月3日日本経済新聞記事から抜粋)

### 住宅改修に最大200万円 — 国交省が補助金

#### 耐震性など評価

### 中古住宅 需要増に対応 — 国が改修支援

#### 質高め売買活性化



国土交通省は、中古住宅の質を高める改修工事を国費で支援する方針です。

耐震性や省エネの性能を強めるなど一定の基準を満たす住宅に100万～200万円を補助します。

人口の減少で新規需要は弱まり、地方では空き家の増加が防災や防犯面で課題になっています。住宅を使い捨てにせず、100年単位で長持ちさせる「欧米流」に切り替える試みは、日本の経済・社会情勢の変化に対応した取り組みです。

(2013年12月17日日本経済新聞記事から抜粋)

